

# 令和7年度下半期水道事業 業務状況説明書

## 1 事業の概況

安全・安心な給水を継続するため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設、老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、870,956,253円を投じ、管網未整備路線の出水不良の改善と、区画整理地区における配水管布設工事を行い、口径75～300mmの配水管を5,431m布設しました。

改良事業では、4,502,464,128円を投じ、老朽铸铁管等の更新工事として、口径75～600mmの配水管等を14,091m布設しました。

また、令和6年度から令和7年度の2ヵ年継続事業である横曽根浄水場計装監視盤等更新工事、令和7年度から令和8年度の2ヵ年継続事業である上青木浄水場配水ポンプ制御盤更新工事及び神根浄水場混流地ほか耐震補強工事のほか、上青木浄水場残塩計更新工事、上青木浄水場無停電電源装置更新工事、横曽根浄水場県水受水流量計等更新工事、新郷浄水場プロセスコントローラ更新工事、鳩ヶ谷浄水場蓄電池更新工事等を実施しました。

## 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

### （1）収益的収支の状況

収益的収入における給水収益の決算額は11,795,693,208円で、予算現額11,867,765,000円に対し執行率99.4%、受託工事収益は72,070,000円で、予算現額74,645,000円に対し執行率96.6%、水道利用加入金は671,583,000円で、予算現額592,305,000円に対し執行率113.4%となりました。

これらに、その他営業収益、長期前受金戻入等を加えた収入総額は14,275,379,995円で、予算現額14,277,722,000円に対し100.0%の執行率となりました。

一方、収益的支出の決算額は12,263,945,710円で、予算現額12,771,738,000円に対し96.0%の執行率となりました。主な内訳は、原水及び浄水費4,717,763,723円、配水及び給水費2,569,992,888円、業務費1,162,794,290円、となっています。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は2,011,434,285円となりました。

### （2）資本的収支の状況

資本的収入の主なものは企業債1,610,000,000円で、このほか、固定資産売却代金、受託工事収入、負担金を加えた決算額は1,824,080,857円となり、予算現額1,914,873,000円に対し95.3%の執行率となりました。

一方、資本的支出の決算額は7,002,059,931円で、予算現額7,675,208,000円に対し91.2%の執行率となりました。内訳は、建設改良費5,383,797,631円、企業債償還金1,618,262,300円となっています。

## 3 給水状況

本年度末日の給水人口は609,490人で、前年度に比べ1,550人（0.3%）増、給水世帯数は313,610世帯で、前年度に比べ5,005世帯（1.6%）増となっています。

年間総配水量は62,522,525 m<sup>3</sup>で、前年度に比べ205,700 m<sup>3</sup>（0.3%）の減となり、有収水量は55,891,548 m<sup>3</sup>、有収率は89.39%となっています。

## 収益的收入及び支出

### 1 収入

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
給水収益	11,867,765,000	11,795,693,208	△ 72,071,792	99.4
受託工事収益	74,645,000	72,070,000	△ 2,575,000	96.6
水道利用加入金	592,305,000	671,583,000	79,278,000	113.4
その他営業収益	531,781,000	438,875,865	△ 92,905,135	82.5
受取利息	4,520,000	26,969,668	22,449,668	596.7
他会計補助金	939,793,000	913,598,729	△ 26,194,271	97.2
国庫補助金	0	550,000	550,000	-
長期前受金戻入	236,514,000	242,290,841	5,776,841	102.4
雑収益	30,398,000	55,746,092	25,348,092	183.4
消費税還付金	0	49,032,171	49,032,171	-
補助金	0	300,000	300,000	-
固定資産売却益	0	5,500	5,500	-
過年度損益修正益	1,000	3,417,272	3,416,272	341,727.2
その他特別利益	0	5,247,649	5,247,649	-
計	14,277,722,000	14,275,379,995	△ 2,342,005	100.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
原水及び浄水費	4,903,476,000	4,717,763,723	185,712,277	96.2
配水及び給水費	2,675,102,786	2,569,992,888	105,109,898	96.1
受託工事費	50,765,000	37,377,652	13,387,348	73.6
業務費	1,204,945,728	1,162,794,290	42,151,438	96.5
総係費	411,739,486	375,468,580	36,270,906	91.2
減価償却費	3,062,647,000	3,048,733,711	13,913,289	99.5
資産減耗費	56,565,000	41,542,944	15,022,056	73.4
支払利息	301,124,426	290,192,329	10,932,097	96.4
消費税及び地方消費税	59,822,000	0	59,822,000	0.0
雑支出	3,891,574	4,516,876	△ 625,302	116.1
固定資産売却損	44,000	0	44,000	0.0
過年度損益修正損	11,615,000	15,562,717	△ 3,947,717	134.0
予備費	30,000,000	0	30,000,000	-
計	12,771,738,000	12,263,945,710	507,792,290	96.0

(消費税及び地方消費税込みで表示)

## 資本的收入及び支出

### 1 収入

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) B-A	執行率 B/A (%)
企業債	1,610,000,000	1,610,000,000	0	100.0
固定資産売却代金	8,000	57,140	49,140	714.3
受託工事収入	190,041,000	113,506,000	△ 76,535,000	59.7
負担金	114,824,000	100,517,717	△ 14,306,283	87.5
計	1,914,873,000	1,824,080,857	△ 90,792,143	95.3

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 2 支出

科 目	A 予算現額 (円)	B 決算額 (円)	差引額 (円) A-B	執行率 B/A (%)
建設改良費	6,056,945,000	5,383,797,631	673,147,369	88.9
企業債償還金	1,618,263,000	1,618,262,300	700	100.0
計	7,675,208,000	7,002,059,931	673,148,069	91.2

(消費税及び地方消費税込みで表示)

### 給水の状況

区 分	A 令和7年度	B 令和6年度	C 差 引 (A-B)	増減率 C/B (%)
給水人口 (人)	609,490	607,940	1,550	0.3
給水世帯数 (世帯)	313,610	308,605	5,005	1.6
総配水量 (m <sup>3</sup> )	62,522,525	62,728,225	△ 205,700	△ 0.3
1日平均配水量 (m <sup>3</sup> )	171,295	171,858	△ 563	△ 0.3

## 地方債現在高

令和8年3月31日現在

### 1 地方債

借入先	水道事業会計
財政融資資金	千円 26,302,150
地方公共団体金融機構	2,614,057
合計	28,916,207

# 令和8年度水道事業 予算概要

## 1 事業の概況

本市水道事業は、中長期経営計画である「アクアプラン川口21～第3次川口市水道ビジョン～」において、「安全・安心と真心を いつでもお客様のもとへ」を事業運営の基本理念として掲げています。

この基本理念を実現するため、平常時だけでなく、災害時にあっても安全・安心な水道水を安定してお届けできるように、各事業を推進していきます。

令和8年度当初予算においては、引き続き、区画整理地区等への配水管の布設や老朽化した配水管の布設替えにより管路の耐震化を図る経費、浄配水場施設の整備に係る経費等を計上しています。

## 2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

### （1）収益的収支の状況

収益的収入の合計額は17,750,071千円で、前年度に比べ3,390,923千円（23.6%）の増を見込んでいます。増額の主な理由は、給水収益の増によるものです。

収益的支出の合計額は14,168,497千円で、前年度に比べ1,366,489千円（10.7%）の増となっています。増額の主な理由は、受水費、委託料、工事費の増などによるものです。

### （2）資本的収支の状況

資本的収入の合計額は1,772,792千円で、内訳は、企業債1,580,000千円、固定資産売却代金45千円、受託工事収入40,332千円、負担金98,415千円、補助金54,000千円となっています。

資本的支出の合計額は7,699,503千円で、内訳は、建設改良費6,115,969千円、企業債償還金1,583,534千円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額5,926,711千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額502,913千円、減債積立金1,210,000千円、過年度分損益勘定留保資金2,301,870千円、当年度分損益勘定留保資金1,911,928千円で補てんします。

## 3 給水状況

令和8年度の総配水量は62,190,000 m<sup>3</sup>で、このうち、県営水道からの受水量は56,277,000 m<sup>3</sup>、深井戸からの取水量は5,193,000 m<sup>3</sup>を見込んでいます。

有収水量は54,971,000 m<sup>3</sup>、予定有収率は88.39%を見込んでいます。